

古賀敦子 フルート奏者



桐朋学園音楽科高等学校で野口龍氏に師事。卒業後、パリ国立高等音楽院フルート科に入学、フルートをミッシェル・デポスト、ピエールイヴ・アルトーに師事。在学中パリ・ルーテス国際コンクールにて優勝、イタリアのイソラ・ディ・カプリ国際コンクールとトラパーニ国際コンクールで入賞。同上音楽院はフルート科を満場一致の1等賞で卒業、同年、同音楽院の大学院(トワジエム・シークル)に進む。

以降フランス国営放送のテレビラジオに定期的に出演の他、数々のフランス国際音楽フェスティバルに出演、ソリストでパリ CNSM 管弦楽団とも定期的に共演。ノルウェイ、スペイン、イタリア、モロッコ、中央アメリカの各地でもソロと室内楽で活躍する。

同大学院を終了後、ドイツのケルン国立音楽大学に入学、アンドラーシュ・アドリヤンに師事。この年スペインのマリア・カナルス国際コンクールで2位入賞、併せてクラウディ・マルチネ・インゲルト賞受賞。翌年ルーマニアのジュネスミュージカル国際コンクールで優勝、同年パリ・ガストン・クリューネル国際コンクールで優勝、イタリアのカルタニセッタ国際デュオコンクール(ピアノ小倉幸子)とローマ TIM 国際コンクール2位入賞と、その他、数々の賞を受賞している。

受賞をきっかけに、ドイツのベルリン中央文化会館、ミュンヘン・ガスタイク、クロスター・エーバーバッハ等各地で、続けてイタリア、オーストリアでもリサイタルを行う。ユンゲ・ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、ホフ交響楽団、マグデブルグフィルハーモニー交響楽団、ワイマール国立歌劇場のソロフルートと副主席を経る傍ら、ミュンヘン音楽大学国家演奏家コース終了。

2001年よりマグデブルグフィルハーモニー交響楽団のソリストをつとめ、ドイツ MDR を中心としたテレビ、ラジオにも出演中。これまでにマグデブルグフィルハーモニー交響楽団、同室内交響楽団、中央ドイツ室内交響楽団、コーブレンツ・ヴィラムジカ・アンサンブル、ロッシーニ・アンサンブル、ブカレスト・ジュネスミュージカル交響楽団、九州交響楽団、アスカニア室内交響楽団等とも数々のコンチェルトを行いソリストとして定評を得る

2007-2008年は“シュトラッセ・デア・ロマニカ”シリーズで、ソリストとしてマグデブルグフィルのメンバーとドイツの各地15箇所以上で共演。また、5月に行われた無伴奏フルートリサイタルにたいし、ドイツ・ロトリンガー音楽出版社から「2008年最優秀演奏賞」を贈られた。

ドイツとフランスの感性を吹き分ける

